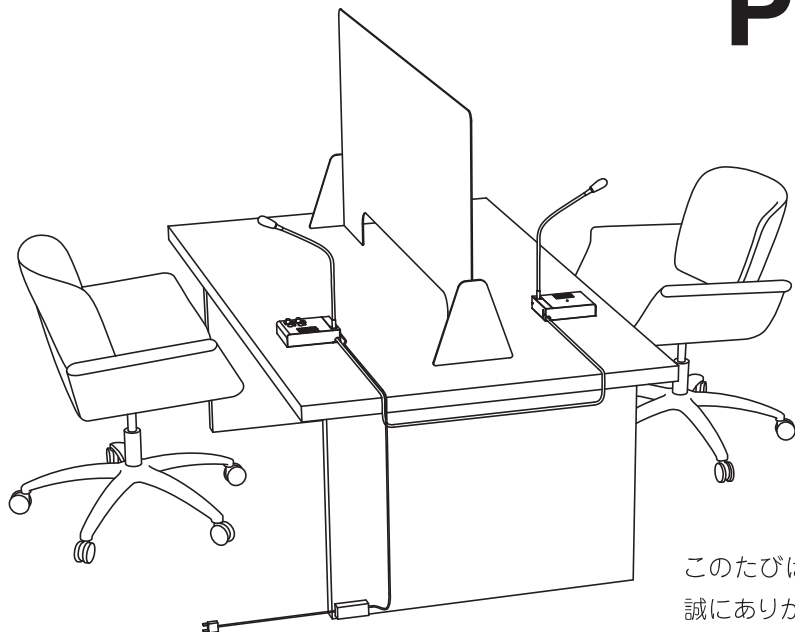


UNI-PEX

取扱説明書 (保証書付)

ポータブル 窓口通話システム

PCC-100 (親機・子機)



このたびは、ポータブル窓口通話システムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

目次

安全上のご注意	1~4	音量の調節	11
特長	4	定格	11
ご使用方法	5	外觀寸法図	12
各部の名称と説明	6~7	サポートのご案内	12
システムを構成する機器	8	保証書	12
設置のしかた	8~10		

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで、本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に、具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に、具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に、具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなどの異常が起きると、火災・感電の原因となります。ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグを
コンセント
から抜け

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。入った場合、ただちにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグを
コンセント
から抜け

指定された仕様のACアダプターのみ使用する

指定以外の製品を使用した場合、火災や感電の原因となります。



濡れた手で、ACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となります。



この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない

こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。



この機器を水滴のかかる場所に置かない

中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺では使用しないでください。



ACアダプターのコードを傷つけない

コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない

火災の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードやACアダプターのプラグには触れない

感電の原因となります。



ACアダプターのDC出力端子を短絡させない

火災や感電の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを
コンセント
から抜け

お手入れの際はACアダプターをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセント
から抜け

本機を電源コンセントの近くに置いて使用する

万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからACアダプターを抜けるようにして使用してください。





注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
ACアダプターのコードを熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
長時間音が歪んだり、ハウリングした状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	
ACアダプターを抜くときは、ACアダプターのコードを引っ張らない コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずACアダプターを持って抜いてください。	
ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。	
移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。	
廃棄は専門の業者に依頼する 燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

設置・使用上のご注意

- 本製品は防滴形ではありません。雨のかかる場所に設置しないでください。
- 放送局のアンテナが近くにある地域では、無線周波数の干渉が音声等に影響を与える可能性があります。
- 本製品は、漏電などの電源障害時は動作不能になります。
- 落下すると、装置が破損することがあります。取り扱いには注意してください。
- 停止しているか正常動作していない場合、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 雑音発生の原因になる機器の近くに設置しないでください。OA機器、ラジオやテレビなどの近くに設置した場合、音声や動作等に影響を与える可能性があります。設置場所は慎重に選んでください。
- 点検や修理のしやすい場所に設置し、保守点検を怠らず、必要に応じて修理を行ってください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など。
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害。
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行われた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害。
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害。
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

お手入れについて

本機を清潔に保つために、日常なお手入れをお願い致します。

本体・マイク・接触ガード

- 除菌用アルコール等を染み込ませた布で、軽く拭いてください。
- ※除菌用アルコールスプレー等を、直接スプレーしないでください。
- 薄めた中性洗剤等を使用する場合は、拭き取り後、乾いた布で乾拭きしてください。
- 揮発性のもの（ベンジン、シンナー、漂白剤等）をかけたり、使用しないでください。
変形したり、変色したりする事があります。

マイク風防

- 中性洗剤等で洗淨した場合は、完全に乾燥させてから、使用してください。

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり、故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか、日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

※特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに、買い換えの検討をお願いします。

- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- ④電源を入れても音が出ない、その他の異常・故障がある。

特 長

- 受付窓口などで、担当者様とお客様との会話に使用する窓口通話システムです。
- お客様側の操作は必要ありません。お客様の音声は常に集音しているので、聞き逃すことはありません。
- 担当者様の音声は、トークスイッチを押している間、お客様側のスピーカーに出力されます。
担当者様が席を立つときや、ブース内の音声を送る必要が無い時は、トークスイッチから手を離すだけで、放送を停止することができます（トークスイッチはノンロック式です）。
- 周囲騒音の変化など、聞こえにくい状況に対応するために、音量を調節するためのつまみを設けています。

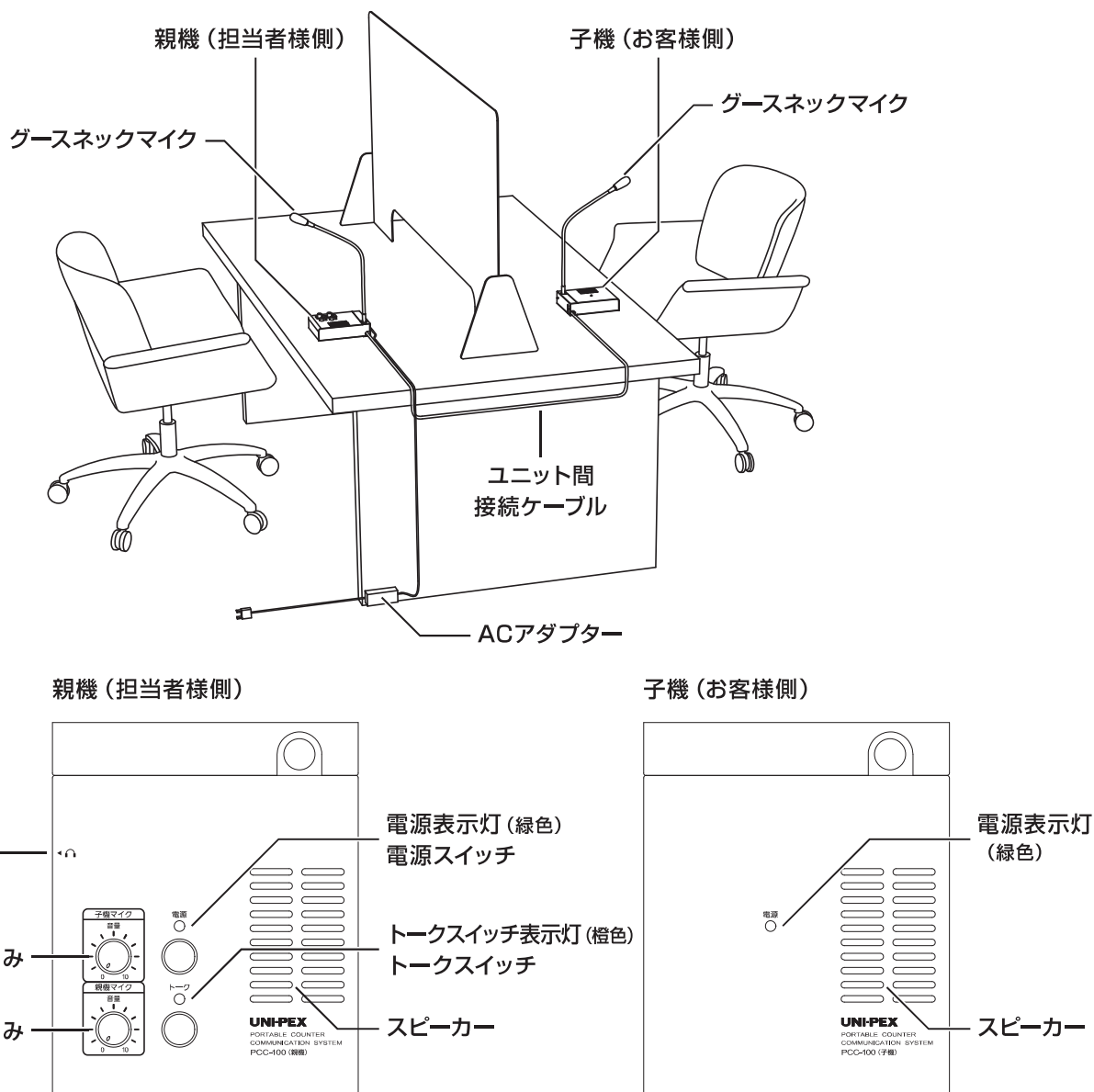
ご使用方法

ご使用の前に

- 設置前の確認～設置後の調節作業(8～11 頁参照)が終了し、AC アダプターの AC プラグが電源に接続されていることを確認してください。

■ご使用の手順

- ① [親機]の電源スイッチを押し、電源を入れてください。[親機]と[子機]の電源表示灯が緑点灯し、使用可能になります。
 - ・ 電源が入っている間、お客様の音声を常に集音しています。
- ② 担当者様の音声を出力する時は、[親機]のトークスイッチを押してください。
 - トークスイッチ表示灯が橙点灯したら、グースネックマイクに向かってお話しください。
 - 担当者様の音声は、トークスイッチを押している間、お客様側のスピーカーに出力されます。
 - ・ お客様からの音声は[親機]のスピーカーから出力されます(イヤホン接続時は、イヤホンから出力されます)。
 - ・ 担当者様の音声を出力している間も、お客様側からの音声は、親機のスピーカーから出力されます。
- ③ 必要に応じて[親機]と[子機]の音量を調節してください。
- ④ 担当者様の送話が終わりましたら、トークスイッチから手を離してください。
- ⑤ 使用を終了するときは、[親機]の電源スイッチを押して電源を切ってください。



各部の名称と説明

親機

電源表示灯 (緑色)

電源スイッチ

- ・ [親機] の電源スイッチを押して電源を入れると [親機] と [子機] の電源表示灯が点灯します。

イヤホンジャック

- ・ イヤホンを接続して使用できます。

子機マイク音量調節つまみ

- ・ 子機 (お客様側) のマイク音量を調節します。

親機マイク音量調節つまみ

- ・ 親機 (担当者様側) のマイク音量を調節します。

トークスイッチ表示灯 (橙色)

トークスイッチ

- ・ このスイッチを押すとトークスイッチ表示灯が点灯し、親機 (担当者様側) の音声を子機に出力できるようになります。
- ・ 手を放すとトークスイッチ表示灯が消灯し、親機側の音声は子機に出力されなくなります。

グースネックマイク

- ・ 担当者様用のマイクロホンです。
- ・ できるだけ口元に近づけてお話しください。
- ※ 付属のグースネックマイクを取り付けてください。(8頁参照)。

後面カバー (親機用)

スピーカー

- ・ スピーカーが内蔵されています。
- ・ お客様の音声出力されます。

ご注意

イヤホンを接続しているときは、受話音はイヤホンから聞こえます。

マイク固定部

- ・ グースネックマイク (付属) をねじ止めします。

(背面)

マイクジャック

- ・ グースネックマイク (付属) のジャックを接続します。

クランプ

- ・ ケーブルを束ねることができます。

ACアダプター接続端子

- ・ ACアダプター (付属) を接続します。

コネクタ接続端子

- ・ ユニット間接続ケーブル (付属) で子機と接続します。

子機

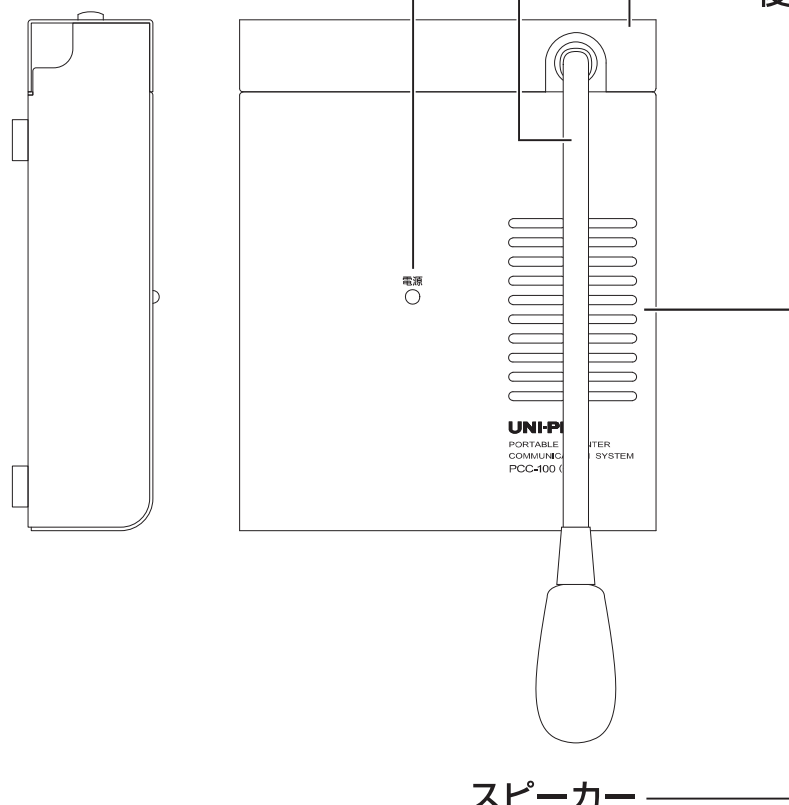
電源表示灯 (緑色)

- ・ [親機] の電源スイッチを押して電源を入れると点灯します。

グースネックマイク

- ・ お客様用のマイクロホンです。
- ・ できるだけ口元に近づけてお話しください。
- ※ 付属のグースネックマイクを取り付けてください。(8頁参照)。

後面カバー (子機用)



スピーカー

- ・ スピーカーが内蔵されています。
- ・ 担当者様の音声が出力されます。

マイク固定部

- ・ グースネックマイク (付属) をねじ止めします。

(背面)

マイクジャック

- ・ グースネックマイク (付属) のジャックを接続します。

クランプ

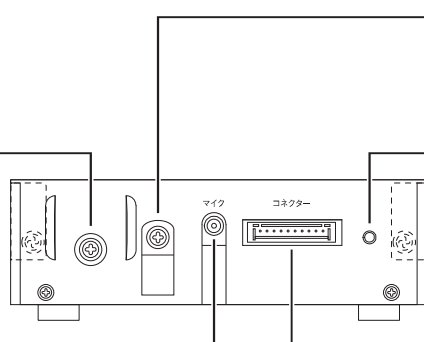
- ・ ケーブルを束ねることができます。

クランプ移設用ねじ穴

- ・ クランプを右側に移設する際に利用します。

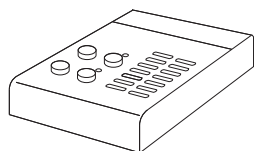
コネクタ接続端子

- ・ ユニット間接続ケーブル (付属) で親機と接続します。

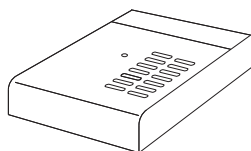


システムを構成する機器

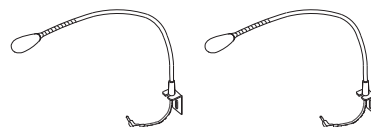
- 開梱時には、機器や付属品が正しく入っていることを確認してください。
- システムを構成する機器は次の通りです。



①操作ユニット(親機)×1



②操作ユニット(子機)×1



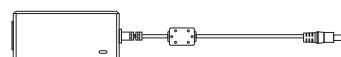
③グースネックマイク ×2



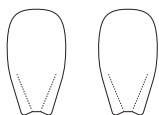
④ユニット間接続ケーブル ×1



⑤AC ケーブル ×1



⑥AC アダプター ×1



⑦接触ガード ×2



⑧接触ガード用クリップ ×2



⑨交換用マイク風防 ×2

⑩取扱説明書 ×1

設置のしかた

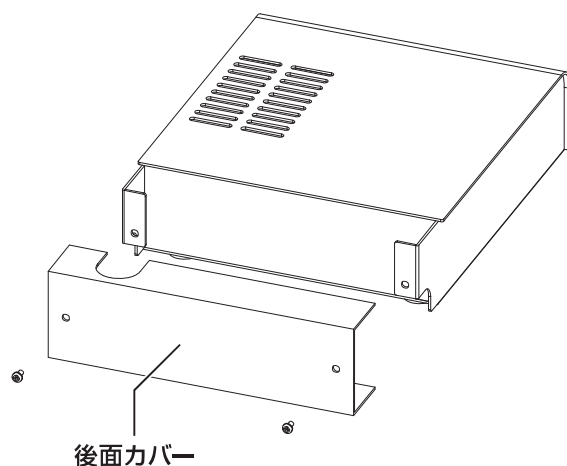
- 設置作業の前に設置場所を確認し、各機器を機能的に操作できるように、配置を決めてください。
- 設置の手順は次の通りです。

ご注意

- 配線をするために机の天板や壁に穴をあけたりする作業は、機器を配置する前に行ってください。

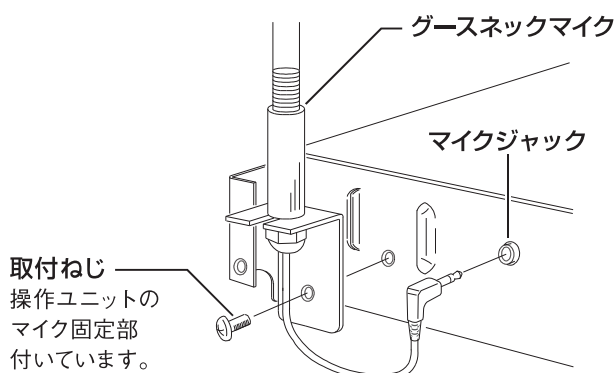
1 後面カバーを取り外す

○[親機]と[子機]の後面カバーを取り外します。



2 グースネックマイクを取り付ける

○[親機]と[子機]にグースネックマイクを取り付けます。

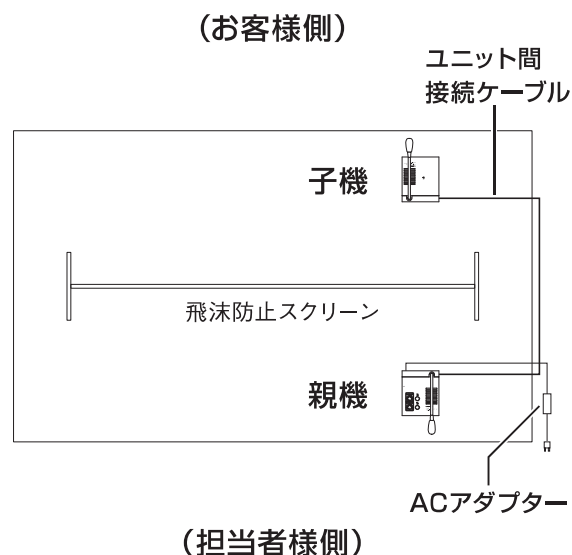


3 操作ユニットを設置する

- ①操作ユニットは、机の左右いずれかの、操作しやすい所に配置してください。
- ②担当者様側に[親機]を置いてください。
- ③お客様側に[子機]を置いてください。
- ④付属のユニット間接続ケーブルが相手の機器に届くことを確認してください。

メモ

- 親機と子機は、できるだけ離して設置してください。
ハウリングしにくくなり、音量を上げることができます。

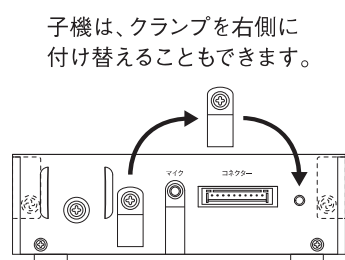
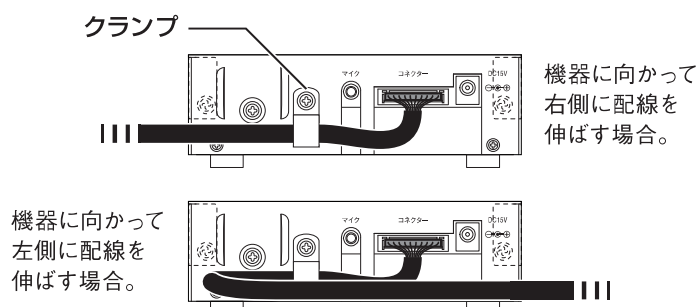
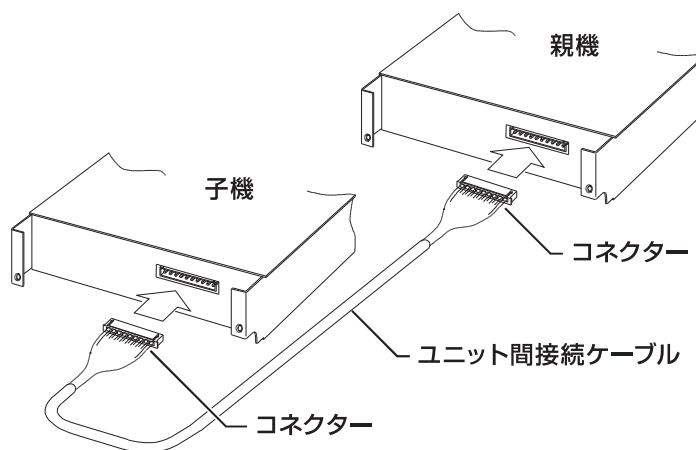


4 親機と子機をユニット間接続ケーブルで接続する

ご注意

- コネクタの接続や取り外しは、コネクタのハウジングを持ち、方向を合わせて行ってください。
芯線に無理な力が加わると断線する恐れがありますので、特に注意してください。

- 机の天板に穴あけ加工をしてユニット間接続ケーブルを通す場合は、ユニット間接続ケーブルの先端のコネクタが通ることを確認しながら加工してください。
- 机の天板の上をモールなどを使用して配線する場合は、操作の邪魔にならないルートを選んで配線してください。
- ユニット間接続ケーブルは、クランプで固定してください。



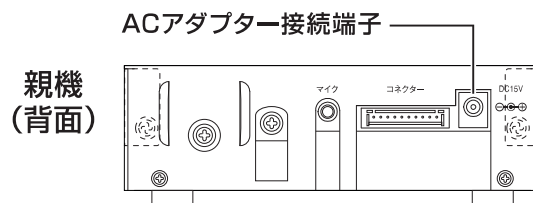
設置のしかた

5 ACアダプターを設置し接続する

ご注意

- 電源供給コンセントと本体ユニット間の置きやすい場所に設置してください。
- カウンターの下など、電源コンセントとの間の安全な場所に設置してください。
- 熱がこもる、水が掛かる、埃が多い場所は避けてください。

- 付属の AC アダプターを、親機の AC アダプター接続端子に差し込んでください。
- AC アダプターは、電源コンセントと本体ユニット間の置きやすいところに配置してください。



6 接続端子カバーを取り付ける

- 親機と子機の接続端子カバーを取り付けます。

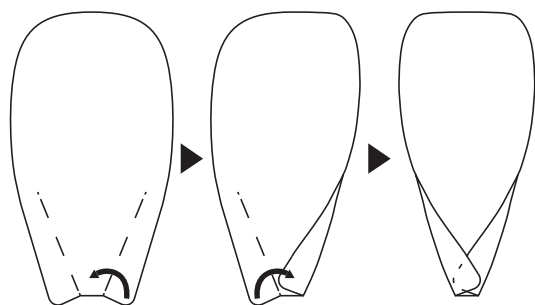
7 接触ガードを取り付ける

ご注意

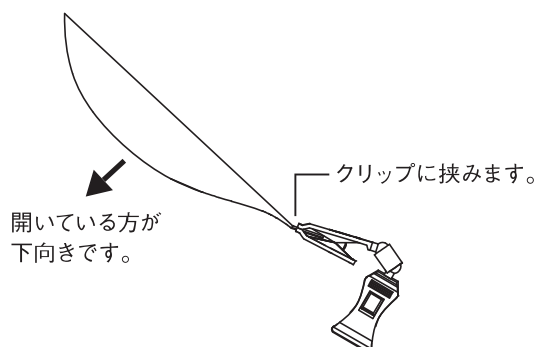
- 接触ガードで目などを突かないように、ご注意ください。

- 必要に応じて、接触ガードを取り付けてください。話者とマイクの風防との接触を防ぎます。

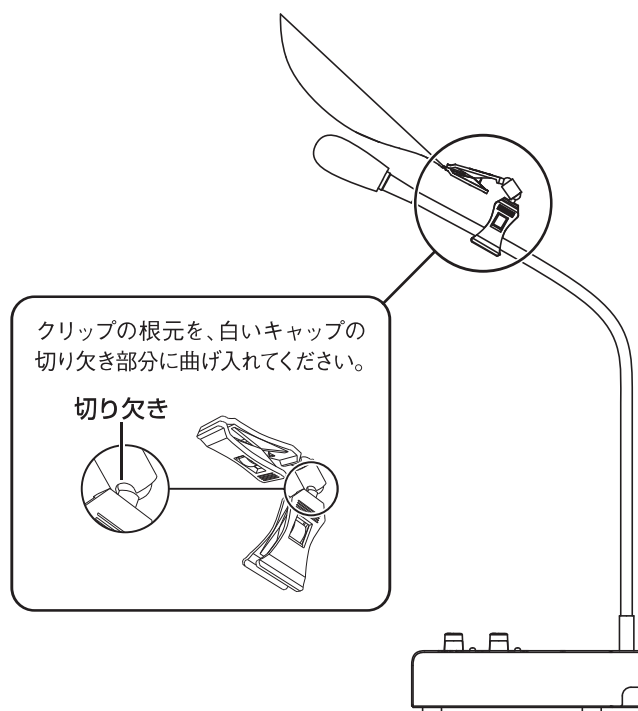
- ①接触ガードを、折り線に沿って折り曲げます。



- ②クリップに挟みます。



- ③グースネックマイクに取り付けます。



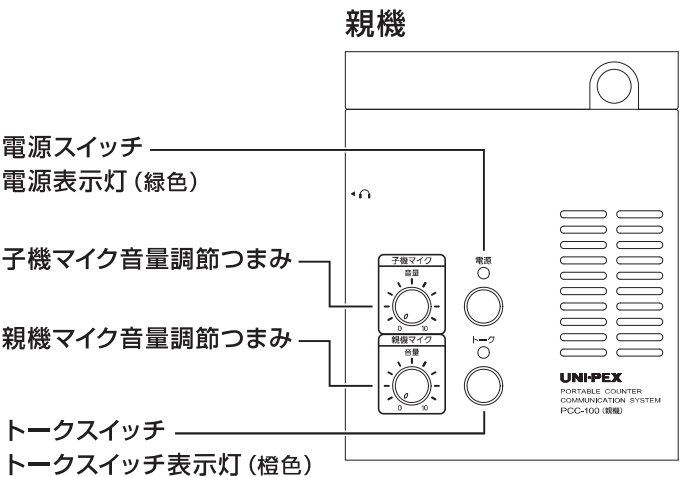
音量の調節

調節を始める前に

- 全ての設置作業(配置および接続)が完了していることを確認してください。

■調節の手順

- ①[親機]の親機マイク音量調節つまみと、子機マイク音量調節つまみを、「0」の位置にしてください。
- ②[親機]の電源スイッチを押し、[親機]と[子機]の電源を入れます。
電源表示灯が緑点灯している事を確認してください。
- ③[親機]の子機マイク音量調節つまみで、[子機]のマイク音量を調節します。
- ④[親機]のトークスイッチを押し、トークスイッチ表示灯が橙点灯したら、親機マイク音量調節つまみで、[親機]のマイク音量を調節します。
- ⑤ハウリングが起きない事を確認してください。
ハウリングが起きる場合、[親機]と[子機]の位置を離してください。



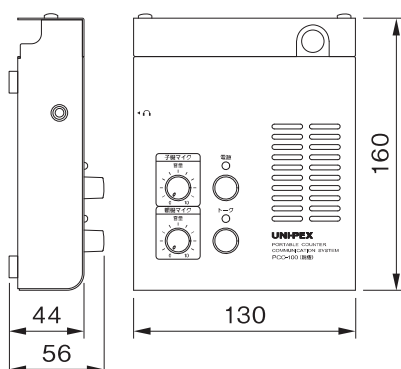
定 格

使 用 電 源	AC100V 50/60Hz (専用付属ACアダプター DC 15V)
消 費 電 流	250mA (定格)、850mA (最大)
定 格 出 力	5W 8Ω
入 力 感 度	マイク：-46dBV 600Ω
イ ャ ホ ン 出 力	16Ω 0.8mW φ3.5mm モノラルミニジャック
内 蔵 ス ピ ー カ ー	70mm×40mm フルレンジスピーカー
マ イ ク ロ ホ ン	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
外 装	天面パネル、背面カバー：鋼板 塗装 近似色ブラック シャーシ：ビニール鋼板 近似色ブラック マイク：近似色ブラック
寸 法 (親機・子機共通)	高さ：44mm 幅：130mm 奥行き：160mm (グースネックマイク除く、スイッチ類除く) グースネック長：510mm
質 量 (親機・子機共通)	約820g (グースネックマイク含む、ACアダプター除く)
付 属 品	取扱説明書、交換用マイク風防×2、接触ガード×2、接触ガード用クリップ×2、 ACアダプター、ACケーブル (アダプターとケーブルの合計長さ：約3m)、 ユニット間接続ケーブル (コネクター式 長さ約2m)

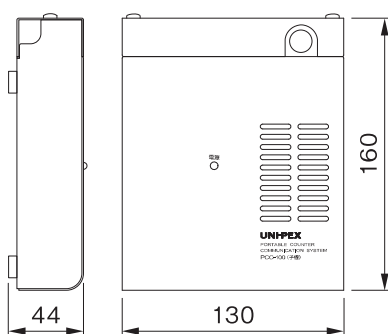
外観寸法図

(単位: mm)

親機



子機



グースネックマイク



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX
お客様ご相談センター

0120-56-5245 (通話料無料)

受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、
ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。
個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を
除き、第三者に提供または開示いたしません。

ポータブル窓口通話システム PCC-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。
お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。